

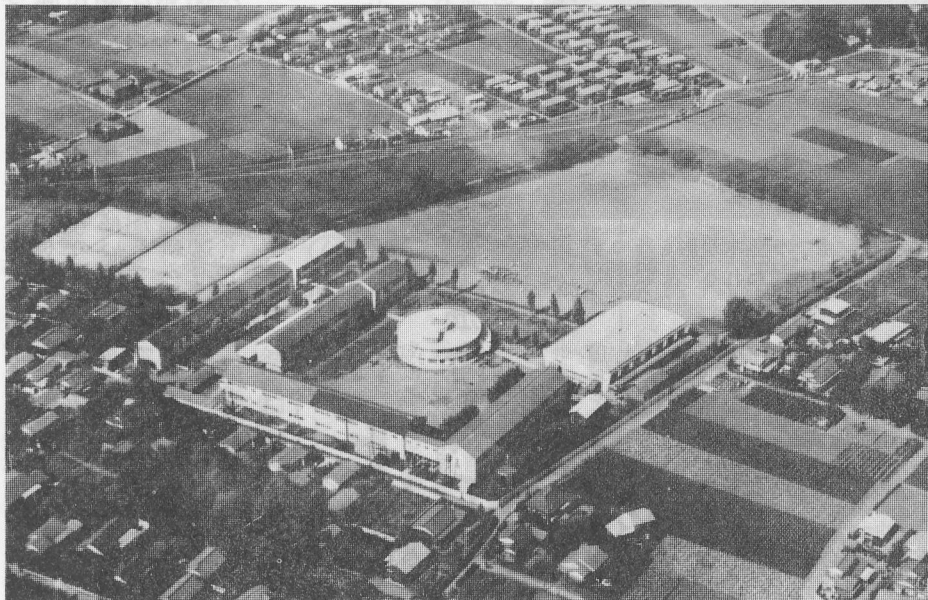
都立大泉高等学校同窓会・いずみ会会誌

会報 いずみ

第35号

会報 いずみ 第35号

発行 平成4年12月5日
 編集人 橋本武彦
 発行人 田中英道
 発行所 いずみ会
 〒178 練馬区東大泉5-3-1
 都立大泉高校内
 ☎ 03-3924-0318
 印刷所 旬一光印刷所
 〒176 練馬区旭丘1-67-8
 ☎ 03-3953-3336



円形校舎落成のころの大泉高校。1961年(昭和36年)、創立20周年当時である

おめでとう大泉創立五十年 母校で記念式典開く

都立大泉高等学校の創立五十年を祝う記念式典が、平成三年(一九九一年)十月十二日午前十時から母校の体育館で、在校生、現・旧職員、大竹恭麿会長(当時)を始めとするいずみ会会員が出席して、盛大に開かれた。昭和十六年(一九四一年)四月に、府立二十中として中野・鷺の宮の仮校舎に開校して半世紀。老若ともに大泉の五十歳を喜んだ。

式典ではまず田中公一校長が挨拶。五十年をお祝いし、大泉のよき伝統と、それをつくりあげ、支えてきた人たちの努力を讃え、在校生に向かって、「諸君の一人ひとりが、本校の新たな伝統を作り出す責任を負っている」と激励した。また友野正雄元校長も、「自主独立の精神と、先輩と後輩の強い結びつきこそが大泉のよき伝統。今後も発展させてほしい」

続いての記念講演と記念演奏は、当然ながらいずみ会会員が主役である。いや、そもそも司会の大川和彦さん(フジテレビ)が、高校18期卒のその道のプロ

なのだ。

記念講演では、高校4期の塚田圭一・フジテレビ常務取締役が登壇。第二次世界大戦敗戦の年の翌昭和二十一年(一九四六年)四月に、大泉に入學したときの思い出話を披露した。

「時の校長は、二代目のあの両角英運校長。朝礼での話が四十五分か五十分続いた。食糧難の時代だから、皆ロクなものを食べていない。三分の一が立っていられずバタバタと倒れた。これが大泉の、最初にして最も強烈な印象」と、会場を笑わせた。

また記念演奏会では、女性会員を代表して、高校24期の玉利美哉子さんがチェンバロを演奏すれば、男性代表は、高校4期の栗林義信さんのバリトン独唱とともに大きい拍手を呼んで、祝賀気分を盛り上げた。

午後から祝賀会でも、会員の活躍が目立った。まずは大竹会長が挨拶。

「かけがえのない地球を守るために、進んで汗を流すような若者が大泉から育つように」

と、九二年のリオ・環境サミットをにらんだスピーチだった。続いて藤森久明副会長(高4期)が、

「いずみ会も会員数が一万七千人を超え、各界のトップとして活躍する人も多い。今日の祝賀会も、学校、PTA、同窓会が力を合わせたたまもの」

(次ページに続く)



降ればグラウンドが“大泉”に。ポプラ並木が影をうつす
のどかな時代もあった。1960年代と思われる

いずみ会も「青春と再会！」 祝賀会で協賛会でパワー全開

と式典、祝賀会の成功を祝った。

旧職員では橋本精一先生が光った。開校から約十年たった昭和二十七年ころのことだそうだが、校歌制定の苦労話を披露された。

「作詞を頼むなら日夏耿之介を措いていない、ということになった。」「さて、当時の両角校長と国語の河合秀夫先生が依頼に行くと、日夏氏は『校歌というものは、詩のジャンルとしては低いものだ』と、あっさり断ったそうです(笑い)。私は二回目に頼みに行くとき、上等のお酒を運ぶ係としてついていきました」

淡々として味のある先生の語り口は、いっこうに衰えをみせていない。

それを受けて間瀬正次元校長が、

「そういう苦労があつて、せっかくなつてももらった校歌なのに、今日の在校生の歌いっぷりは元気がなくていかん。次からはもっと力強く歌ってもらわなくては」

と「今時の若いもの」に注文をつけた。

最後はまたいずみ会が登場、榊原剛副会長が音頭をとって万歳三唱で締めた。

大泉高校は次の半世紀に向けて、歩みはじめたのである。

いずみ会として母校創立五十年を祝ういずみ会祝賀会は、大泉高校で記念式典が開かれた十月十二日の夕刻から、六本木の「ヒア・アンド・ナウ」で開催された。次第に台風が首都に迫るという大荒れの天気だったが、招待させていただいた現・旧職員を始め、合わせて二百九十六人が参加、祝賀会は大盛況の賑わいだっただ。協賛金も、約千二百七十八人の会員から合計約千三百五十万円が寄せられ、いずみ会の底力を見直された。

さらに、この日、先生方やいずみ会役員などが着けていた胸章は、高校3期の長谷川浩吉さんからご贈りいただいたものだし、皆が手にしているプログラムは、6期の篠匡昭さんの多大な協力をもって印刷していただいたものだ。

開会前から、あちこちで旧交を暖める人々のざわめきが心地よい。その中で、山谷敬之・祝賀会実行委員長(高8期)、大竹恭鷹会長(中3期、当時)、中山茂雄事務局長(高3期、当時)らが相次いで挨拶、

「五十周年おめでとうございませう。心配していたが、それを吹き飛ばすような数の人たちが集まった」

「いずみ会はやればできるんだと、感激している」

「協賛金は、三百万円くらいなら集まるかなどと考えていた。一千万円は夢と思ったが、それを大幅に超えてしまった」

などと語った。参加したすべての人たちの実感だろう。

多くの先生方に出席していただいたが、伝説的名物教師、ガミチャンこと石上堅先生も元氣

母校創立五十周年記念事業 お礼と報告

前事務局長 中山 茂雄(高3期)

このたび母校創立五十周年記念事業を推進するにあたり、協賛金のご協力をお願いしたところ、当初の予想をはるかに越える会員の皆さまのご協力を得られたことに、心から厚く謝意を表するものです。さて、今回の記念事業について監査が終了いたしましたので、この事業に活用したそれぞれの経費について、若干説明します。(8頁に表)

○記念事業協賛金 四百十万円は、学校、PTAと協賛して行った記念事業の費用に充

当したもので、使途を学校におまかせしてお渡しました。
○記念誌購入費 百七十万円は、五十周年記念誌三百冊分の購入費として学校に支払いました。
○実行委員会費 約百三十万円は、学校、PTA、いずみ会協賛の祝賀会とは別に、いずみ会独自に六本木の「ヒア・アンド・ナウ」で行った記念祝賀会の費用として山谷敬之実行委員長にお渡ししました。

○記念誌発送費 二十九万七千円強は、協賛費を一万円以上納入された会員で、いずみ会祝賀

会当日出席されなかった方への記念誌郵送料です。

○協賛会事務局費 四十四万円強は、事務局の経費として、会議費、打合せ会費などに使用した経費です。

○各期募集経費 九十九万四円強は、事務局で募集したものの他、各期で独自に協賛金を募集していただきましたが、申し出により、支出した経費です。

○幹事慰労会費 十三万六千円強の経費は、いずみ会祝賀会当日、お手伝いいただいた幹事の慰労会費です。

その時、祝賀会の開催について、学校が記念式典を予定している十月十二日の夜にいずみ会主催祝賀会を実施することは、現時点では大変困難であるという説明を聞き、私も納得していた。しかしただ一人、執拗に十月十二日開催を主張していた幹事

であった。この彼が高校11期の椎葉亮一さんであった。椎葉さん、広瀬さん、橋本武彦さんらを中心とする高校11期の方々の粘り強い働きかけと実行力が、五十周年記念祝賀会を実施し、成功させた原動力であった。実行委員会が動きだすと、さ

いずみ会の底力に、ありがとう

祝賀会実行委員長 山谷 敬之(高8期)

がいた。私は、これから会場を捜し、案内状を送り、参加者を確保するとともに、祝賀会としての内容を整えることは、あと四カ月間では無理であると判断していた。それ故、彼が早く主張を取り下げてくれないかと内心いらしていたことは確か

まざまな問題が表出してきたが、多くの委員の知恵により、実行可能な計画につくりあげられていった。会場の決定、参加者数の予測、協賛者名簿の整理・住所の割り出し、案内状発送、出欠の返信整理、旧職員名簿作成、記念誌の配布等々を企画・総務、

応募金額は、協賛者千二百七十八名で、実に千三百万円を越えるという好成績でした。残額約四百五十六円余をいずみ会一般会計に繰り入れ、今後の活動に役立てることにになりました。

記念事業の大成功はもとより、なにがしかの繰入金を残してこの大事業を遂行できたことは、ひとえに母校の発展を願う会員の皆さまのご協力の賜物であると心から感謝いたしますと同時に、たまたま事務局長であったがゆえに、たとえ命がけであったとはいえ、この周年事業に携わることができたことは、私の生涯の喜びです。

会計、会場・イベント進行、受付・接待、広報・連絡・記録・写真、監査の各係分担で解決していった。

この間、高校11期を核としながらも、他の期からも精力的に重要な役割を引き受けてくれる方が現れ、広がりが出てきたこ

とは、今回の大きな収穫であった。それとともに、常に出席していない期に働きかけて、実行委員会への参加を呼び掛けたことも、意義深いものがあつた。私が委員長としてただひとつ守り通したことは、祝賀会を成功させることにのみ専心する、

ということであつた。しかし、多くの実行委員の人々がここに結集した力を、いずれはいずみ会の充実・発展のために寄与させたいという気持ちをもって、いたことを強く感じていた。それは、長い間、大竹恭磨いずみ会長、中山茂雄事務局長の好意に甘え、同窓会の仕事を十分に支援してこなかった反省から生まれてきたものであろう。

◇ 短期間でありましたが、いろいろと側面からのご協力をいただきました。なかでも、十三回に及ぶ実行委員会の会場として、サンライフ練馬を使用したことは、館長としての中山前事務局長のご配慮であり、大変助かりました。その他、会場での胸章では高校3期の長谷川浩吉さん、プログラムの印刷では高校6期の篠田昭さん、先生送迎タクシーは、やはり6期の藤森昭二さん、司会は11期の秋山京子さん、ビデオ撮影で25期の岩崎明さん、写真撮影班の藤山竜彦さん(高33期)、米本昌英さん(高35期)、本当にお世話になりました。

実行委員の面々八十七名の皆様、その中でとくに強い印象に残る働きをしてくれた若い期の方々、本当にありがとうございました。同日開催で皆様に喜ばれ、盛会裡に任を果たせたことは、協賛をいただいた方々、祝賀会に出席いただいた方々、皆様全員の熱意のおかげと、心より感謝しております。

大泉高校創立五十周年記念

協賛金寄付者名簿(敬称略)

大泉高校創立五十周年記念	
協賛金寄付者名簿（敬称略）	
●旧職員	柳瀬 八十男
●一万円	四田 淳三
●小島勇作先生	依田 弘
●清水芳彦先生	眞喜志 康裕
●中1期	●中2期
●五万円	●三万円
●春日 孟	石崎 裕
●名倉 光雄	尾内 昌吉
●二万円	尾崎 昌凡
●牛山 浩一	田中 清
●曲谷 久男	田中 英道
●一萬五千元	田中 英道
●稲見 忠典	中村 洸
●一万円	安藤 雄一
●浅野 次郎	石崎 卓
●猪股 麒一郎	石飛 勇
●梅原 辰雄	菊谷 義美
●浦野 耕一	神藤 庄司
●大須賀 昭三	塚原 明
●長部 矜一郎	新倉 雄三
●菊地 太郎	眞鍋 信行
●桜庭 幹雄	宮本 隆司
●佐々木 仁	宮本 隆司
●佐藤 亮一	佐藤 亮一
●関 藤雄	関 藤雄
●高柳 邦夫	飯島 博
●竹田 節男	猪狩 徹郎
●長 博連	池田 洋
●中井 敬	伊藤 清美
●永里 高平	伊藤 克
●中島 靖侃	上原 勇作
●中田 吉昭	大谷 喜啓
●藤本 直	片桐 利光
●片山 達郎	加藤 勝吉
●加藤 正照	國分 曼彦
●下田 治雄	白土 昭伍
●鈴木 実	竹林 克明
●坪川 嘉彦	寺本 緑郎
●中川 邦好	中川 邦好
●中村 範夫	中村 範夫
●長谷川 大	長谷川 大
●長谷川 洋	長谷川 洋
●長谷川 洵	早川 秀穂
●藤代 伝造	藤代 伝造
●藤瀬 季彦	堀川 明
●堀川 明	堀川 明
●宮崎 新太郎	宮崎 新太郎
●最上 潤	山内 利之
●吉田 藤人	吉田 藤人
●若村 幸生	若村 幸生
●桜井 幸生	桜井 幸生
●服部 宏	服部 宏
●市川 哲也	市川 哲也
●内海 正	内海 正
●奥谷 良一	奥谷 良一
●加唐 海人	加唐 海人
●越山 安久	越山 安久
●佐々木 光雄	佐々木 光雄
●寺島 広由	寺島 広由
●勝田 一彦	勝田 一彦
●林崎 裕	林崎 裕
●深津 正録	深津 正録
●藤山 彰司	藤山 彰司
●松丸 利男	松丸 利男
●峯沢 進	峯沢 進
●若井 清司	若井 清司
●渡部 希康	渡部 希康
●高2期	●高3期
●一万円	●一万円
●寺島 一郎	寺島 一郎
●大塚 謙信	大塚 謙信
●二万円	●二万円
●新木 敬治	新木 敬治
●桜井 宏	桜井 宏
●谷 秀男	谷 秀男
●福島 正路	福島 正路
●一万円	●一万円
●大村 重雄	大村 重雄
●奥谷 喬司	奥谷 喬司
●加藤 昭夫	加藤 昭夫
●近藤 恭通	近藤 恭通
●桜井 義貞	桜井 義貞
●高井 博	高井 博
●高良 進	高良 進
●武見 健三	武見 健三
●森田 倫正	森田 倫正
●内田 剛弘	内田 剛弘
●諏訪 忠一	諏訪 忠一
●中川 誠一	中川 誠一
●水島 広一	水島 広一
●山岡 竹三郎	山岡 竹三郎
●二万円	●二万円
●佐々木 宏	佐々木 宏
●一萬五千元	●一萬五千元
●長尾 一雄	長尾 一雄
●長尾 吉慧	長尾 吉慧
●一万円	●一万円
●雨宮 暹	雨宮 暹
●泉川 恰二	泉川 恰二
●磯崎 昭朗	磯崎 昭朗
●伊藤 正昭	伊藤 正昭
●近江 昭	近江 昭
●岡田 浩	岡田 浩
●小川 暢弘	小川 暢弘
●川口 進久	川口 進久
●桐生 悠一	桐生 悠一
●熊谷 光恭	熊谷 光恭
●熊本 喜兵衛	熊本 喜兵衛
●鴻田 一章	鴻田 一章
●小平 俊男	小平 俊男
●西郷 陽	西郷 陽
●佐伯 嘉隆	佐伯 嘉隆
●三枝 実	三枝 実
●佐藤 英雄	佐藤 英雄
●佐藤 浩一	佐藤 浩一
●佐藤 哲夫	佐藤 哲夫
●清水 茂	清水 茂
●杉浦 康彦	杉浦 康彦
●杉本 公守	杉本 公守
●須藤 尚宏	須藤 尚宏
●諏訪 好一郎	諏訪 好一郎
●瀬戸山 毅	瀬戸山 毅
●仙田 陽一	仙田 陽一
●高野 眞一	高野 眞一
●高松 奎寿	高松 奎寿
●玉川 常信	玉川 常信
●茅根 重彦	茅根 重彦
●鳥羽 靖	鳥羽 靖
●中田 伸一	中田 伸一
●中西 和夫	中西 和夫
●長谷川 浩吉	長谷川 浩吉
●馬場 英俊	馬場 英俊
●浜田 安子	浜田 安子
●原田 裕至	原田 裕至
●平田 雄三	平田 雄三
●堀越 惇生	堀越 惇生
●増田 融	増田 融
●眞鍋 俊彦	眞鍋 俊彦
●溝口 皖司	溝口 皖司
●宮越 繁樹	宮越 繁樹
●宮寺 秀雄	宮寺 秀雄
●山下 昇	山下 昇
●山田 耿介	山田 耿介
●吉田 浩	吉田 浩
●五千元	●五千元
●遠藤 忠良	遠藤 忠良
●加藤 峰男	加藤 峰男
●加羽沢 暉吉	加羽沢 暉吉
●栗林 義信	栗林 義信
●小林 英也	小林 英也
●小山 五郎	小山 五郎
●真保 真人	真保 真人
●鈴木 恵吉	鈴木 恵吉
●鈴木 恒雄	鈴木 恒雄
●庄基 仁志	庄基 仁志
●田原 正顕	田原 正顕
●手塚 雅夫	手塚 雅夫
●豊田 勝己	豊田 勝己
●波間 秀夫	波間 秀夫
●橋本 宏	橋本 宏
●塙 正男	塙 正男
●原田 徳雄	原田 徳雄
●藤原 伸伍	藤原 伸伍
●保科 宏	保科 宏
●安井 昇	安井 昇
●吉田 恭夫	吉田 恭夫
●渡辺 健一	渡辺 健一
●渡辺 忠明	渡辺 忠明
●佐々木 健雄	佐々木 健雄
●一万円	●一万円
●相原 睦	相原 睦
●荒井 眞	荒井 眞
●猪谷 千春	猪谷 千春
●石井 久美男	石井 久美男
●石橋 峰雄	石橋 峰雄
●石丸 健二	石丸 健二
●伊藤 綾子	伊藤 綾子
●岩田 恒夫	岩田 恒夫
●江南 宏	江南 宏
●榎本 龍夫	榎本 龍夫
●大澤 永弘	大澤 永弘
●太田 宏	太田 宏
●岡本 澄子	岡本 澄子
●小野寺 正臣	小野寺 正臣
●小原 一益	小原 一益
●柿田 儀二	柿田 儀二
●石田 要久	石田 要久
●石原 須美子	石原 須美子
●伊藤 惇一	伊藤 惇一
●今泉 紀雄	今泉 紀雄
●内田 勝久	内田 勝久
●梅沢 正	梅沢 正
●大木 寿子	大木 寿子
●大沢 登	大沢 登
●大立 庸夫	大立 庸夫
●大橋 陽子	大橋 陽子
●大村 島子	大村 島子
●荻野 史朗	荻野 史朗
●桶田 敏正	桶田 敏正
●尾崎 雄三	尾崎 雄三
●小達 邦利	小達 邦利
●河合 誠治	河合 誠治
●後藤 みどり	後藤 みどり
●小林 昭夫	小林 昭夫
●小宮山 眞生	小宮山 眞生
●齊藤 眞生	齊藤 眞生
●坂井 敏郎	坂井 敏郎
●坂野 かほる	坂野 かほる
●坂卷 從繁	坂卷 從繁
●高4期	●高5期
●三十万円	●五十万円
●藤森 久明	山崎 秀雄
●藤森 久明	山田 裕道
●五万円	●三万円
●相田 弘	山崎 秀雄
●塚田 圭一	山田 裕道
●三万円	●三万円
●内田 廣定	山崎 秀雄
●高橋 健三	山田 裕道
●比嘉 高	山崎 秀雄
●比嘉 高	山田 裕道
●秋田 光一	山崎 秀雄
●梅沢 龍二	山田 裕道
●小野 靖彦	山崎 秀雄
●長野 晃三	山田 裕道
●仁科 和雄	山崎 秀雄
●比嘉 裕子	山田 裕道
●日高 周子	山崎 秀雄
●平山 久雄	山田 裕道
●一萬五千元	山崎 秀雄

佐藤 昇	飯田 深雪	◆一万円	武井 敏子	松村 美佐子	松岡 尚武	田辺 英三	市木 健一郎
佐野 旭	市川 悦子	青木 健	竹内 俊雄	三木 真里	三浦 俊久	土屋 美弥子	今牧 美智恵
嶋 正彦	井上 須美子	有田 二郎	武智 克子	村上 芳子	山岸 敬司	戸井田 和美	上田 浜子
鈴木 桂子	今村 金子	池上 規子	月野 和雄	◆三千円	山谷 敬之	豊島 松夫	内野 悦子
鈴木 俊子	宇野 シゲ子	伊藤 与嗣男	大隅 仁子	岡野 朝子	横田 惇	中塚 厚生か	畠 治男
周藤 晃	大下 富美子	井上 暉夫	寺本 殷昌	岡野 朝子	◆千円	野口 瑛子	漆原 孝太郎
諏訪 優子	岡本 清子	岡本 清子	戸塚 昭昌	宿谷 ゆかり	石井 威	野口 純正	大石 恭一
高杉 治朗	小倉 昭子	海東 三津子	富永 進一	高田 勉	石岡 嘉子	東 利子	大坪 卓
高橋 宏	達男	片桐 恵美子	中 義孝	永池 和子	伊藤 昭三	広川 福子	大軒 史子
高橋 文朗	文朗	片桐 俊行	中田 好子	林田 留美子	稲葉 宏樹	広瀬 彰	岡本 康男
滝沢 文尉	河北 アヤ子	齊藤 君枝	西田 泰子	伴野 隆	上田 哲夫	藤井 元孝	小口 悟子
竹上 文尉	文尉	酒井 茂子	浜 壮太	◆高8期	内田 喜美江	藤井 勝子	木下 駿介
武田 美代子	美代子	穴戸 美恵子	半田 健一	◆二万円	大島 和子	藤井 勝子	斉藤 元一
田島 実	実	先崎 真澄	関 康夫	関口 武司	大城 達郎	古川 晋	斉藤 正一
田中 房代	房代	高橋 典子	卷田 和代	◆一万円	大場 幸雄	堀 光成	齊藤 元一
玉井 さつき	さつき	中村 尋子	相川 靖志	岡崎 美代子	梶間 護	松田 映子	沢口 朝子
田村 晴巳	晴巳	三上 美智子	相川 靖志	片務 隆	粕谷 格	松本 英夫	莊 正
中原 鉄治	鉄治	村田 三五子	小西 悦子	片山 隆	片山 隆	丸山 弟亮	白石 好伸
中原 久雄	久雄	村田 恵美	下 千恵	加藤 文男	三浦 まき	真野 喜興	真道 富美
新倉 雅子	雅子	◆三千円	関口 光世	角張 洋二	三沢 好章	宮本 芳彦	鈴木 美香子
西山 暢一	暢一	伊原 礼子	河村 スズエ	宮崎 信吾	宮本 芳彦	宮崎 信吾	滝田 寿成
野村 富孝	富孝	大竹 知恵	北村 直子	宮下 元也	立松 修治	武市 則昭	田中 宏子
橋本 正史	正史	中静 信子	元也	三好 恵美子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
初鹿野 衣江	衣江	藤井 東母子	木根 淵 初子	谷治 正孝	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
深沢 秀夫	秀夫	◆二千元	木村 玲子	横川 喜三子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
本多 待子	待子	功刀 昌子	久保 とし恵	横山 三和子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
松坂 清	清	◆高6期	栗岡 宇美子	吉田 早輪子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
宮本 厚	厚	◆五万円	酒井 康彦	吉原 忠雄	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
村井 順子	順子	石井 岱三	佐藤 則忠	柴田 成子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
両角 宏彦	宏彦	藤森 昭治	柴田 成子	志村 美智子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
山中 孟	孟	◆三万円	志村 美智子	杉浦 五十鈴	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
吉田 和子	和子	青木 功	杉浦 五十鈴	杉本 敏子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
◆七千五百円	七千五百円	工藤 一星	杉本 敏子	角田 富美子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
内山 貞夫	貞夫	富永 英夫	角田 富美子	関口 明子	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
内山 春江	春江	◆五千元	関口 明子	関口 忠男	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
青木 雅子	雅子	梅澤 やよひ	関口 忠男	高田 勇	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
青木 節子	節子	大波 克夫	高田 勇	高橋 律	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			高橋 律	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	田中 宏子
			田中 宏子	立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田中 宏子
			立松 修治	田中 宏子	立松 修治	田	

駒井 正	西村 敏行	伴 隆徳	平井 聡子	本橋 修明	山田 繁	吉田 登代子	◆高15期	◆二万円	水島 磐男	青木 喬二	枝吉 聡子	岡林 誠二	葛西 克彦	神杉 豊子	神谷 明正	川上 いずみ	久保田 繁	鴻森 和明	坂本 茂	坂本 紀生	佐々木 信子	白水 汎	杉山 武彦	高関 稔	高橋 伸光	高橋 明男	長尾 則子	仁藤 澄子	福田 悦久	藤原 敏厚	巻内 勝彦	柳沢 智子	吉田 智彦	◆五万円	岩野 潔	齊藤 信樹	中島 悠美子	
◆高16期	◆一万円	鈴木 哲	◆高17期	◆二万円	稲田 和子	式田 譲	梁川 雅世	◆一万円	石田 弘	泉 由紀	江口 とめ	大平 安夫	大町 禾子	片倉 みつ子	片野 章子	勝 信子	川和 美秀	功力 義雄	栗原 一恵	貞方 輝之	佐藤 貞子	篠 和夫	志村 麦人	杉本 裕子	鈴木 喜子	高橋 悠子	高橋 京子	武井 明江	竹内 正	竹下 克彦	寺本 隆道	豊島 公治	中沢 稔	西尾 啓子	間 浩明	浜田 浩助	林 登代子	
平田 三佐子	間島 憲治	三木 千寿	最上 武夫	安富 康男	渡辺 さざれ	◆五万円	甘粕 知一郎	市毛 京子	佐賀 治夫	佐賀 道子	網島 丹	原田 滋子	藤村 紀子	堀江 悠子	水上 順子	茂木 慶子	山口 雅子	◆高18期	◆二万円	丸山 淳子	◆一万五千元	大類 肇子	伊藤 圭子	大川 和彦	大倉 まり子	酒井 君江	佐藤 牧夫	菅原 園枝	角田 敬子	直井 美喜子	中村 謙	中村 譲	野崎 総子	馬場 のぶ子	林屋 このみ	三木 ユリ	水垣 真里子	
◆五千元	河村 博江	辻川 恵子	湯川 玲子	◆高19期	◆二万円	石川 真理子	池羽 万里子	井上 康子	大岩 常男	加藤 敏夫	兼村 博	川名 輝夫	菊地 万範	枳穀 敏明	五藤 基	小山 雅文	坂田 茂	桜井 民雄	佐藤 久子	下村 葉子	菅原 健	高田 めぐみ	西川 由起	松木 伸男	望月 典子	安永 剛	山田 進	渡辺 正明	◆高20期	◆二万円	渡辺 順子	山崎 春美	◆一万五千元	有馬 保生	井口 和子			
池田 裕二郎	今井 裕	大槻 伸一	尾崎 彰夫	柿木 俊久	金子 研一	加納 高	菊池 順一	栗原 正成	小林 憲一	小山 恵一郎	佐々木 公子	讃井 正光	清水 政泰	末繁 文雄	鈴木 裕美子	須藤 和由	須沼 洋	関屋 収	曾我 和廣	高原 善治	立山 香	田中 克子	田中 百合恵	寺 章夫	内藤 秀樹	中川 洋一	並木 雄平	能代 良司	比地原 正明	藤本 万里	藤本 均	星野 秀樹	三上 恵只	宮本 正信	山下 道雄	豊 哲男	吉沢 修	
李 慶英	◆五千元	浅沼 啓子	小本 小笛	上村 和子	熊坂 和孝	小池 由紀夫	高木 順子	谷口 尚司	福原 正和	三上 森丸	柳沢 俊夫	吉川 昭美	吉田 明子	◆高21期	◆一万円	朝倉 素雄	荒井 滋喜	有川 隆一	池上 義春	今津 正	射水 雄三	上田 豊	植村 久	大谷 政徳	大塚 眞理子	加藤 和夫	紺野 百世	佐久間 信和	澤田 章	塩路 信二郎	新藤 斎	妹尾 和夫	高橋 和子	田川 正人	田熊 美和子	田辺 夏樹	寺師 良樹	
富高 頼子	長崎 道夫	橋本 知子	長谷川 昇司	広井 真紀子	船本 三恵子	水島 かな江	水島 美千留	守本 純	山田 武久	渡辺 正則	松岡 弘恵	◆三千元	片山 茂人	◆二万五千元	関根 潔	関根 恵美子	◆高22期	◆一万円	齊藤 良造	仲野 照夫	◆五千元	本庄 徹	◆高23期	◆一万円	正木 研郎	◆高24期	◆二万円	森 正和	東 建志	喜多村 昇	西川 功一	藤井 英世	山口 勉	山口 知子				
山田 衛	山中 洋子	◆五千元	印南 憲治	井上 るみ子	島田 健一	成富 優子	原田 公彦	松本 明	真柳 仁	安田 容子	五十嵐 美智子	岩崎 直子	海野 ゆう子	酒見 順子	南部 真知子	新田 啓子	松山 博子	松山 子至子	松本 玲子	諸星 悦子	八十島 有香	山本 哲郎	山本 繁子	吉岡 由美	◆高25期	◆一万円	石王 道人	宇多 正行	櫻村 泰彦	河崎 明宏	鈴木 健二	大黒 正久	田島 弘	土井 悦郎	中田 靖	中村 修司		
長屋 淳子	吉田 寛	◆五千元	相京 典子	朝比奈 裕利	柄島 孝弘	江村 信枝	二上 貴夫	◆三千元	齊藤 弘	高木 英守	高橋 敏二	◆二千元	剣持 孝吉	国分 弘子	田川 祥一郎	本橋 仲夫	◆千円	秋山 典子	鈴木 稔	中川 隆	宮園 由紀子	和田 達夫	◆高26期	◆一万円	相山 裕子	浅原 孝之	一瀬 聡彰	絲川 佐知子	今泉 友一	今村 眞理子	上原 正美	江幡 真史	川上 謙治	中西 敬子	沼田 英一	野口 泰憲	樋口 久恵	平野 弘道

前原 正明	荒卷 圭士
間中 順子	行方 康男
水沼 栄一	池田 意都子
◆五千元	石原 正己
五十嵐 幹雄	大久保 小舟
小笠原 弘二	大久保 靖
小笠原 園子	岡本 暁子
木村 武彦	垣田 律子
栗原 眞理子	片岡 多恵子
黒田 佳良子	加藤 健次
小平 留美子	加藤 徳治
杉田 薫子	加藤 勝亮
杉田 保明	木村 薫
田島 悦子	窪田 重彦
多田 悦子	外記 直幸
田中 美紀	小島 厚子
成田 美奈子	佐藤 昌子
野村 忍	関根 明子
長谷川 郁子	中野 真
二田 昭彦	野口 起正
松田 久美子	野村 均
宮本 晴美	福光 信介
横山 由美子	向谷 克典
◆高27期	山下 至
◆一万円	山根 勉
荒賀 康徳	吉岡 幹夫
◆高28期	◆三千元
◆一万円	古井戸 宏
西沢 正博	◆高30期
◆高29期	◆一万円
◆一万円	大坪 千枝
杉山 正樹	◆高32期
田島 由美	◆三万円
村井 広樹	仲沢 浩一
村井 明光	◆一万円
◆五千元	井上 敬夫
秋田 茂	小泉 成美
大沼 邦彦	

母校創立50周年記念事業会計報告

【収入の部】		【支出の部】	
協賛費	13,490,341	母校記念事業協賛金	4,100,000
預金利子	54,549	記念誌購入費	1,700,000
		実行委員会費	1,308,574
		記念誌発送費	297,600
		事務局費（会合費）	446,835
		各期募集経費（賛助金）	990,953
		振替手数料	3,139
		実行委員会幹事慰労費	136,990
合計	13,544,890	合計	8,984,091
		残金（一般会計へ）	4,560,799

◆高35期	青木	智江	浅谷	紀美子	井川	仁	伊藤	尚美	伊藤	朝路	潮	美貴子	宇野	香	遠藤	裕	大橋	貴志	荻原	聖美	小野	善範	加藤	泰弘	神沢	隆広	栗栖	なおみ	小林	あゆみ	下村	玲子	杉浦	美穂
◆一万円	浅田	智之	◆三千元	本多	寛子	◆二千元	居作	知人	磯	正夫	榎本	幸雄	梶谷	直代	小林	弘明	田畑	博章	星	牧人	松本	俊一	依田	敦	◆千円	相澤	孝							

いずみ会祝賀会会計報告

【収入の部】		【支出の部】	
いずみ会一般会計より	800,000	祝賀費経費	2,647,985
50周年記念協賛金より	1,700,000	会議費	523,882
祝賀会会費(290名)	2,270,000	全体会50人×4回	
お祝い金(4名)	40,000	部長会15人×14回	
預金利息	3,566	小委員会20数回	
		連絡・通信費	255,450
		印刷・コピー代	291,651
		ビデオ・写真代	442,516
		事務用品代	83,822
		バス代(先生方の移動)	82,400
		記録・報告・製本代	30,000
		雑費	64,434
		残高(いずみ会への返金)	391,426
合計	4,813,566	合計	4,813,566

田尾 叔枝	高38期	不明	ナカヤマシゲオ
辻 えり子	◇一万円	◆一万円	イソノハルコ
畑川 直哉	井口 努	不明	13キ
服部 秀治	小方 正一	不明	ソウリツ5
平沼 智		◆高39期	
深井 祐有子		◇一万円	
堀井 奈緒美		村井 智光	
水野 まり		◇五千円	
宮川 伊津美		竹重 英樹	
宮下 朗			
村上 智子			
村上 美香			
山下 徹			
山田 美穂			
山田 雄二			
湯浅 幸子			
渡辺 英美			

大泉高校創立五十周年記念事業協賛会会計報告
(高校の事業)

【収入の部】		【支出の部】	
P T A積立金	2,325,648	記念式典	172,792
同窓会寄付	4,100,000	講演会	100,000
記念誌販売（注）	1,700,000	演奏会	490,000
その他	856,397	校内祝賀会	1,567,210
祝儀	826,000	記念誌制作費	4,628,030
都費	21,600	記念植樹	144,272
銀行利息	8,797	通信連絡費	19,828
		雑費	889,148
合計	8,982,045	合計	8,011,792
		残額（サクラ基金）	970,765

(注) 記念誌販売は、いずみ会が記念誌を買い上げた額

フジタヨシヒロ
◇三千円
ナカワガヒロミ

〔注〕このほか
43期の卒業パー
ティーの残金一
万七九一円が
寄付されていま
す。

▽ご夫婦など、
複数で寄付され
た場合は、どち
らかの期に一緒
に掲載しており
ます。なお、た
えばお二人で



いずみ会祝賀会から

一万円寄付された場合は、一人五千円寄付されたものとして取り扱いました。

監査報告を承認 第二回幹事会

平成四年度の第二回幹事会は、九月十二日、練馬・中村橋のサンライフ練馬において、幹事三十八名の出席をもって開催した。今回は、去る四月二十五日の第一回幹事会で条件つきで承認された決算報告の再審議が主議案。鈴木哲・監査委員長(高16期)の報告を受け、監査指摘事項が了承されたほか、五十周年記念協賛金の扱いなどについての討議が、約二時間にわたって真剣

に行なわれた。

司会の大久保靖常任幹事(高29期)の開会の辞に続いて田中英道会長(中2期)が挨拶に立ち、いずみ会の今後の新しい展望について述べた。その後、議長に西沢正博理事(高28期)が推薦され、幹事会が成立していることが確認された。議事録署名人には木下俊介(高9期)、高野よりこ(高44期)の両幹事が指名され、議事に入った。

会議はまず、平成二年度、三

年度のいずみ会一般会計、及び五十周年記念協賛事業会計の決算に関する監査報告が、鈴木監査委員長からなされた。五月から四カ月にわたり、八回開催した監査委員会の監査結果は、規約に沿った会計監査人の不在、経理書類の不備等が問題点として報告された。これによって、前役員から百四十九万二百九十六円がいずみ会会計に返済され

ることになった。

このような状況がもたらされたことについては、前事務局だけでなく幹事、会員を含めたいずみ会全体の責任であるとの指摘も、鈴木委員長からなされた。これを受けて「今回の監査報告がいずみ会の今後の発展に向けて建設的に活かされるべきだ」との提案があり、拍手をもって承認された。

次に五十周年協賛会の活動の結果として残った、四百五十六万七千九百九十九円の剰余金の取り扱いについて論議した。一部の幹事からは「五十周年記念事業

なう」うちに、だんだん私的な感覚での運営になったことと、一般会計が無関心でいたことに、その原因があると思います。

今年度からは職務分担を明確にし、総勢三十三名の役員が、それぞれの役割で活動しており

反省こめて「再出発」

会長 田 中

英 道(中2期)

昨年の大泉高校創立五十周年記念協賛事業は、それまで同窓会に参加したことのない会員の多くにも、いずみ会の存在と意義を考えるよい機会を与えてくれました。またこれを機に、先生方の同窓会ともいえる大泉高校旧職員の会が発足し、この十月四日に東武バネケットホールで第一回の会合が開かれ、六十名程の先生方が、再会を喜び、旧交をあたためられたといううれしいニュースが届いております。

さて、このたび監査委員はじめ多くの理事の方々のご努力により、前役員からの引継ぎの件で、ようやくすべての整理がつきましたので、別記のようにご報告申し上げます。まず、協賛者名簿の記載に

いずみ会一般会計に組み入れられ、いずみ会の活動費にあてられることが先の幹事会で決まりました。ご賢察の上ご了承下さいますようお願い申し上げます。次に、監査報告の総括(10ページ)をご覧下さい。当初は混同されていた一般会計と協賛金

じめ幹事の皆様も、同じ思いでしょう。ともあれ、これでやっと本格的に新たな出発ができたことになりました。考えてみますと、このような遺憾な事態に立ち至ったのは、会員数の規模からみて少人数の役員が、限られた予算で「可能なことだけを行

ます。すでに会報34号を発行し、六月七日の総会で配布いたしました。この35号は、五十周年記念協賛事業特集として発行いたしました。会の活動状況を知る最良のメディアである会報は、全会員に届けたいというのが、現執行部の第一の目標です。し

かし残念なことに、現在住所が確認できているのは約五千名程度と思われます。是非一人でも多くの仲間、現住所を期に幹事に知らせて、同期のつながりを強くしていただ下さい。いずみ会はその基盤の上にこそ成り立つものだと思います。

また現在、規約改正委員会が、より開かれた、よりよいいずみ会をつくる為、現状に即した規約づくりに取り組んでいます。以上のような目標に向かっての活動資金として、会費制導入も検討中です。

終わりにあたって、投稿、アドバイス、労力提供、寄付等、あらゆる面に対して会員の皆様一人一人が参加可能な面でご協力下さるよう、切にお願い申し上げます。

開かれたいずみ会を 監査報告の総括

会長 田 中 英 道(中2期)

九月十二日のいずみ会平成四年度第二回幹事会で、田中会長から報告のあった「監査報告の総括」は次のとおり。(執行部)

◇

去る四月二十五日の幹事会の決定に従い、いずみ会では初の監査を依頼し、長期にわたり鈴木哲委員長はじめ各委員には、大変なご苦労をおかけいたしました。八月十九日に監査報告を頂きました。監査委員会の皆様には心から御礼を申し上げ、会長として総括をして皆様にご報告致します。

これまでいずみ会の存続の為に、大変な努力を惜しまなかった前役員の業績を監査するのは誠に遺憾ですが、あえてそれを行ないましたのは、この事態こそ会員全員の責任であることを、一人でも多くの会員が認識する必要があるからです。わずかに五千人の役員に、一万五千人を超える会員の同窓会の運営を、何年も任せ放しにした会員の無関心が、大半の責任といえましよう。

この監査の目的は、新たな会の組織作りにつながる、
①スタートの経理を明確にすること、
②全会員の参加を期待して、全てに開かれた解り易い会にする

こと、

にあります。従ってこの監査を行なったことにより会員の分裂が起こるようなことは、絶対に避けねばなりません。十年余りにわたる前役員のご苦労と、多大な貢献には深く感謝しつつ、まずかった点についてはご納得のうえで、修正をお願いしました。

これを新たな出発の第一歩として進め、今後の会の発展を図る所存ですので、皆様の変わらぬご協力をお願い致します。

監査報告指摘事項

- ①規約に明記された監事の選出がなされなかった。
- ②全会計処理が中山前事務局長の単独処理にてなされていた。
- ③経理関係書類(金銭出納帳、通帳、領収書綴り等)の不備。
- ④一般会計の予算と決算の検討不足。
- ⑤一般会計と特別会計(50周年記念協賛事業)との混同。
- ⑥いずみ会の財布と個人の財布との混同。
- ⑦不相当な飲食代の出費。
- ⑧修正金額の内訳
- ◆計算違いによるもの
- ◆協賛事業

収入で 金一九万八五四九円
支出で 金七三万円

◇合計 金九二万八五四九円

◆認められないもの

◇平成二年度 支出で 金四〇万四三三八円

◇平成三年度 支出で 金二万七七八六円

◇協賛事業 支出で 金一二万九五六三円

◇合計 金五六万一千七四七円

以上の結果、各決算はつぎのように修正されました。

◆平成二年度決算 四三七万九七六六円が 三三九万九五六〇円に

◆平成二年度繰越 一、二四四円が △三七万八二二八円に

◆平成三年度決算 二、三六万二、四四四円が 二〇三万二、四六四円に

◆平成三年度繰越 二、二五万三、六六〇円が 一〇八万〇、四七六円に

◆協賛事業決算収入 一、三三万四、六三三円が 一、三五四万、四八〇円に

◆同支出 一、一四万、九〇二円が 八、九八万、四〇九円に

◆同残額 一、八九万、七三九円が 四、五六万、〇七九円に

以上

平成3年度いずみ会決算

科目	予算額	決算額	説明
【収入の部】			
入会金	2,200,000	2,370,000	@5,000 ×474 名分
記念式典費	300,000	0	50周年記念実行委員会へ振り替え
名簿売上金	100,000	28,000	@2,000 ×14冊
利子	1,000	11,692	預金利子
繰越金	1,000	△ 378,228	平成2年度から赤字繰越
合計	2,602,000	2,031,464	

【支出の部】			
総会費(式典)	800,000	800,000	50周年記念実行委員会へ交付
会報費	500,000	0	未執行のため
幹事会費	200,000	27,786	役員会
名簿作成費	250,000	0	未執行のため
母校連絡費	100,000	108,348	新入会員記念品等
名簿積立金	500,000	0	未執行のため
雑費	50,000	14,854	故本田先生花輪等
予備費	200,000	0	未執行のため
繰越金	2,000	1,080,476	平成4年度へ繰越
合計	2,602,000	2,031,464	

平成2年度いずみ会決算

科目	予算額	決算額	説明
【収入の部】			
入会金	2,350,000	2,370,000	@5,000 ×474 名分
寄付金	30,000	0	総会を幹事総会へ振り替えたため
積立金	1,000,000	1,000,000	
繰越金	1,000	29,560	平成元年度からの繰越金
利子	1,000	0	科目存置
合計	3,382,000	3,399,560	

【支出の部】			
総会費	200,000	0	幹事総会へ振り替えたための残り
幹事会費	100,000	158,531	幹事会の会合費
母校連絡費	100,000	84,001	新入会員記念品等
会報費	350,000	48,000	会報33号を簡易印刷とした印刷費
名簿作成費	2,400,000	3,260,000	名簿印刷費
50周年事業	200,000	0	50周年記念事業へ組み替え
雑費	30,000	227,256	名簿編集、校正等雑費
予備費	2,000	0	
繰越金	0	△ 378,228	平成3年度へ赤字繰越
合計	3,382,000	3,399,560	

監査委員会開催経過

委員長 鈴木哲(高16)。委員
桜井宏(高2)、高橋健三(高
4)、羽根田達治(高10)、伴
隆徳(高14)、宇多正行(高25)

第1回 平成4年5月9日
(中止)

第2回 5月23日 鈴木委員
長、宇多、高橋両委員、大竹
前会長、中山前事務局長、田
中会長、橋本事務局長、椎葉
幹事出席

第3回 5月30日 鈴木委員
長、宇多委員、大竹前会長、
中山前事務局長、田中会長、
橋本事務局長、西澤理事、椎
葉幹事出席

第4回 6月7日 鈴木委員
長、宇多委員、大竹前会長、
中山前事務局長、田中会長他
出席

第5回 7月29日 鈴木委員長、
宇多委員、中山前事務局長、
田中会長他出席

第6回 8月5日 鈴木委員
長、宇多委員、中山前事務局
長、田中会長他出席

第7回 8月19日 鈴木委員
長、伴、宇多各委員、中山前
事務局長、田中会長、橋本事
務局長他出席。委任状提出＝
桜井、羽根田両委員。辞意表
明＝高橋委員

第8回 8月28日 鈴木委員
長、宇多委員、田中会長、新
木副委員長、橋本事務局長、
吉田、沼田、西澤各理事、大
久保常任幹事出席

内、いずみ会事務局・規約改正
規約改正委員会からお願い
規約改正委員長
新木敬治(高2期)

その他なんでも結構です。ご
意見をお聞かせ下さい。
なお、規約改正委員会は、次
のメンバーで構成されています
(敬称略)。
梅沢やよひ(高6期)、北岡博
(高11期)、広瀬芳子(高11
期)、寺章夫(高20期)、植村
久(高21期)、宇多正行(高25
期)、沼田英一(高26期)、西
澤正博(高28期)、新木。

監査については、四月から八
月末までかかるという異常事態
となっていました。それは、当
初から懸念されていたように、
経理関係書類が一切なかったた
め、前事務局長に帳簿類、決算
報告書、作成して戴いたうえ
で、監査報告書を書くという手
順をとらざるを得なかったため
である。

監査の過程で、以下のような
問題点が明らかとなった。
①規約に則した幹事の招集手続
が、いずみ会が新人会員の入会
金の上に依存している現状で、

このような杜撰な会の運営等
は、今後なされてはならないこ
とは当然のことである。そのた
めには、より多くの会員の意見
を聴取し、会の運営に反映させ
ること、規約にのっとった役員
の選出をし、それぞれがその役
割を果たすこと、予算、決算を
明確にし、会計幹事、監事がそ
の役割を果たすこと、飲食代等
会議費の支出基準を明確にする
こと、新しい態勢に合致した規
約の改正を行うこと、会の活性
化のために名簿を整理すること
等が必要であると、監査委員会
としては考える。

出直しへの一歩

監査委員長

鈴木

哲(高16期)

監査を終えて

不相应な飲食代等の支出を認め
ることは不可能である。
以上に指摘したようないずみ
会の運営状況、経理状況は杜撰
と評価されても仕方のないもの
である。このような事態となっ
たことについては、実際に業務
に携わった前事務局長のみなら
ず、規約に則した会の運営を怠
った前会長、更にはそのような
事態を放置してきたいずみ会及
び会員自身にもその責任がある
ものと考ええる。

今回の事態を機に、平成四年
四月に新執行部が発足し、新た
に会の運営が行われることにな
った。私は、新執行部が、会員
の中から協力してくれる優秀な
人材を集め、規約にのっとり、
なるべく多くの幹事を招集する
などして、英知を出し合い、討
議に討議を重ね、幹事会、理事
会、各部会を活性化し、いずみ
会の発展をはかるよう努力する
ことを期待して止まないもので
ある。

平成4年度いずみ会予算

(平成4年4月1日～5年3月31日)

【収入の部】

前期繰越金	4,150,735
通帳残高	1,490,540
現金	200,000
雑収入	5,841,275

【支出の部】

組織検討委員会費	200,000
総会費	350,000
会報費	850,000
内、制作費	250,000
内、発送費	600,000
名簿作成費	150,000
名簿積立金	400,000
同期会奨励金(名簿調査費)	200,000
幹事会費	500,000
母校連絡費(祝い金)	100,000
新入会員(卒業生)記念品代	100,000
規約改正委員会費	50,000
雑費	100,000
予備費	350,000
次期繰越金	2,491,275
合計	5,841,275

(注)平成4年
3月卒業生の新
入会員の入会金
は、平成3年度
の収入といたし
ましたが、平成
5年3月卒業の
新入会員の入会
金は、平成5年
度の収入とし、
以後この計上の
方法を採用しま
す。このため平
成4年度には、
新入会員の入会
金の収入はあり
ません。

収入の部のう
ち、雑収入の内
容は、名簿の売
上金などです。

規約改正委員会からお願い

規約改正委員長

新木敬治(高2期)

委員会。

- ①いずみ会の活動として望むものは?
- ②いずみ会の運営組織は?
- ③名簿の整備について
- ④会費(通信費)の徴収について

(中 1 期 ~ 高 44 期)

中1	名倉	光雄	171	豊島区目白 5-5-8	03-3953-0328	高19	山田	進	177	練馬区石神井町8-44-4	03-3904-1396
春1	孟	171	豊島区目白 3-15-12	03-3953-2360	石川	真理子	179	練馬区春日町4-30-3	03-3999-3980		
佐藤	亮一	177	練馬区石神井町3-24-1	03-3996-0044	高20						
中2	英道	176	練馬区豊玉南1-8-13	03-3991-3016	曾我	和廣	177	練馬区石神井台7-24-11-302	03-3920-0397		
田中	義美	161	新宿区西落合4-7-14	03-3951-4155	寺	章夫	178	練馬区東大泉6-31-21	03-3923-8142		
菊谷	高1				高21	守本					
中3	省三	177	練馬区富士見台2-19-6	03-3990-5523	植村	純	239	横須賀市馬堀町3-78-62	0468-43-0252		
鰐川	恭磨	177	練馬区石神井町3-12-4	03-3997-2311	高22	(未定)	204	清瀬市上清戸1-15-16	0424-93-0215		
大竹	彰一郎	178	練馬区南大泉5-33-3	03-3922-5756	高23						
肥後	茂	176	練馬区桜台4-19-17	03-3994-5007	牧野	耕治	176	練馬区練馬1-16-16	03-3557-0391		
池田					高24						
高2	宏	236	横浜市金沢区六浦町1389-30	045-784-8749	真柳	仁	178	練馬区西大泉2-24-13	03-3923-2817		
桜井	敬治	178	練馬区大泉学園町4-12-6	03-3921-2157	宇都	伸享	167	杉並区桃井1-24-6	03-3390-8389		
新木					高25						
高3	山田	165	中野区江原町3-8-2	03-3951-1257	宇多	正行	204	清瀬市中里5-6-1-206	0424-93-6596		
中山	茂雄	251	藤沢市善行団地3-9-504	0466-82-3917	宮川	修作	352	新座市栗原5-1-17-305	0424-21-6023		
高4	一郎				吉田	寛	177	練馬区高野台4-27-12	03-3997-1357		
高橋	健三	358	入間市上藤沢406-5-103	0429-62-1013	高26	沼田					
日高	周子	178	練馬区大泉学園町4-10-28	03-3922-4546	高27	英一	175	板橋区徳丸3-41-30	03-3937-2334		
高5					高28	(未定)					
柿原	剛	165	中野区鷺宮6-27-2	03-3970-1735	高29						
田中	依子	176	練馬区春日町1-9-4	03-3999-6001	西沢	正博	177	練馬区石神井町3-18-17	03-5393-1186		
高6					野島	陽子	164	中野区上高田1-34-10三洋荘	03-3368-5652		
石井	岱三	357	飯能市大字芦荻場781 シルバーハウス希望園	0429-74-1725	(加世田)						
梅沢	やよひ	177	練馬区南田中4-12-14	03-3904-5341	高29	杉山	正樹	164	中野区大和町2-12-4	03-3337-9339	
高7	寛	178	練馬区東大泉5-23-14	03-3922-5240	大久保	靖	189	東村山市青葉町2-38-8-206	0423-96-0215		
遠藤	清子	182	調布市深大寺東町7-36-5	0424-85-0461	高30	(未定)					
山高					高31						
山谷	敬之	359	所沢市西狭山ヶ丘1-2443-21	0429-48-4328	杉田	大成	179	練馬区田柄4-43-14	03-5997-0128		
宇田川	公子	158	世田谷区上野毛3-11-5	03-3702-2011	鎌田	政信	166	杉並区高円寺南4-28-10-1101	03-3312-1573		
高9					仲沢	浩一	178	練馬区南大泉6-17-8	03-3922-1144		
木下	駿介	165	中野区鷺宮1-8-21	03-3339-3187	高33						
大野	史子	176	練馬区桜台4-26-15	03-3994-8951	三橋	重人	180	武蔵野市吉祥寺北町4-13-28	0422-53-1523		
高10					高34						
天野	久男	165	中野区上鷺宮1-19-7	03-5241-3095	佐久間	悦子	176	練馬区貫井3-43-14	03-3999-2220		
羽根田	千賀子	343	越谷市神明町1-86	0489-62-9659	五味	ちあき	178	練馬区南大泉5-27-2	03-3925-9311		
(三松)					高35						
高11	武彦	177	練馬区石神井町6-14-4	03-3904-2144	服部	秀治	180	武蔵野市西久保2-28-8-108	0422-55-4507		
橋本	順子	359	所沢市中新井4-6-3	0429-42-4678	湯淺	幸子	173	板橋区西台2-25-21-205	03-3936-4403		
富田	(松本)				(三浦)						
高12					高36	全彌	181	三鷹市牟礼5-10-21-202	0422-41-1158		
相川	光夫	305	つくば市松代4-419-304	0298-51-9123	高37	(未定)					
安東	洋子	166	杉並区成田東5-39-11-503	03-3392-3462	高38						
高13					高39	惠二郎	166	中野区白鷺2-11-14	03-3330-6289		
戸田	一誠	178	練馬区南大泉5-6-56	03-3921-0582	三好	智之	176	練馬区旭丘1-38-3	03-3953-3913		
佐藤	克子	203	東久留米市滝山2-5-6-305	0424-72-1224	高39	(未定)					
(細谷)					高40						
高14					伊藤	勲	178	練馬区西大泉3-11-33	03-3923-6734		
伴	隆徳	176	練馬区豊玉北6-13-15	03-3993-1241	平松	香子	177	練馬区南田中3-8-34	03-3995-8382		
高15					高41						
神谷	明正	176	練馬区練馬4-24-7	03-3948-6886	浅井	景子	178	練馬区東大泉7-24-10	03-3923-2469		
高16					松原	由紀	167	杉並区善福寺3-22-7-101	03-3394-6500		
鈴木	哲	176	練馬区高松3-7-20-303	03-3998-6480	安田	由里	178	練馬区南大泉1-47-32	03-3921-8222		
高17					高42	(未定)					
佐賀	治夫	359	所沢市上山口5014-3	0429-24-7966	高43						
堀江	悠子	108	港区三田4-17-19-403	03-3449-4668	畑	慶明	177	練馬区石神井台8-17-22	03-3929-9647		
(石川)					後藤	花織	179	練馬区早宮1-18-17-115	03-3993-2380		
高18					高44						
中村	謙	165	中野区白鷺1-1-2	03-3339-2508	矢吹	大丞	178	練馬区南大泉4-16-3	03-3922-4380		
杉山	明美	192	八王子市谷野町719-427	0426-91-4353	高野	よりこ	165	中野区上鷺宮4-1-29	03-3990-0248		
(河村)			みつ台65-4								

▼この欄の上に、ご覧のとおり各期の代表幹事の名簿を掲載しております。各期でお気付きのことがありましたら、ご連絡よろしくお願いたします。また、代表幹事は原則として期で二名一人しかいない期、全然いない期がちらほら。早めに選出して事務局にご連絡を。